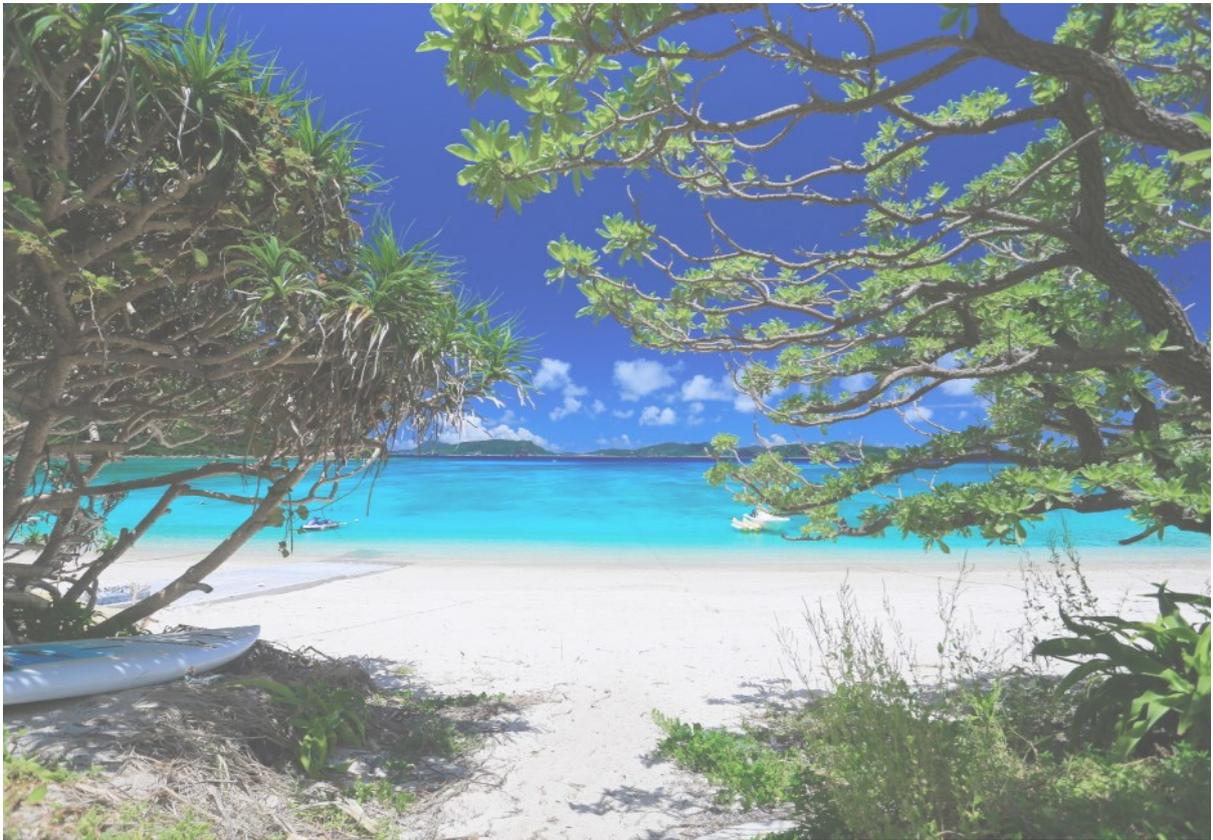


Coca-Cola

美ら島とともに



美ら島のために、美ら島とともに
それが沖縄コカ・コーラボトリングの想いです。

Sustainability Report2021

沖縄コカ・コーラボトリング株式会社

CONTENTS

・TOP MESSAGE	03
・日本のコカ・コーラシステムによるサステナビリティへの取り組みについて	04
・コカ・コーラシステムの構成	05
・当社のCSR活動	06
・1.環境	11
・2.経済	14
・3.地域社会	17
・会社概要	22

私たちの企業理念 ワシタ チム グクル

経営理念

お客様に満足を
地域社会と共に歩む
働きがいのある会社に

社是

- 行動規範 -

- ・さわやかな挨拶をしよう。
- ・問題意識を持って行動しよう。
- ・円滑なコミュニケーションをしよう。
- ・変化に素早く対応しよう。
- ・自己啓発をしよう。
- ・感謝の心で接しよう。
- ・積極的にチャレンジしよう。

編集方針について

本レポートはこれまで取り組んだ内容や活動結果から主要なものを報告しています。コカ・コーラシステムが、世界的に推進する活動や日本国内で行っている活動を紹介するとともに、当社の取り組みを掲載し、持続可能な活動に繋げることを目的に発行しています。

対象期間・対象範囲

期間：2020年1月～2021年6月(一部2019年含みます)

範囲：沖縄コカ・コーラボトリング株式会社、グループ会社

TOP MESSAGE

「ワシタ チム グクル」の精神で地元に根差し

皆さまに信頼され 親しまれて 成長する企業を目指します



代表取締役 社長 小山 良彦

当社は1968年設立以来、県民の皆さまをはじめ、来県されます皆さまに清涼飲料を通して「憩いのひととき」をお届けして参りました。

昨年からのコロナ禍においても、私どもの使命を果たすべく、継続して事業活動を行っています。

コロナ禍にあっては、消費者の消費行動が変わり、清涼飲料市場が大きく変化致しました。

どのような状況下においても成長し続けるため、リーダーシップを発揮し、スピードをもって意思決定を行い、今後も社員一丸となって沖縄県に貢献出来る企業を目指して参ります。

沖縄コカ・コーラグループ一体となって活動を展開し、成長を続ける強い会社へ向けた変革を進めます。

その一つに、浦添工場で新たな製造ラインを稼働させ、県内製造率をあげることで、県経済への貢献につなげます。 県内製造率の拡大に伴い、CO₂排出量削減など、環境に配慮したモノづくりを行い、事業活動を通じて、持続可能な発展に貢献できるようSDGsの取り組みの推進を図ります。

また、企業成長の実行を支える従業員の活力を大事にし、経営基盤の強化を図って参ります。

今後も成長を続けることを通して、県民の皆様さまをはじめ、沖縄コカ・コーラに関わるすべての方々に認められる、良い会社、強い会社を目指して参ります。

環境理念

沖縄コカ・コーラボトリングは、コカ・コーラシステムの環境方針に従い、コカ・コーラシステム各社とともに、地球規模の環境保全の重要性を認識し、地域における環境の継続的な改善を推進します。

環境方針

沖縄コカ・コーラボトリングは、当社の事業活動が環境に与える影響を理解し、持続可能な社会を目指すため、環境マネジメントシステムを導入し、全従業員参加のもとに以下の施策を中心に取り組みを行い、環境目的・目標を設定するとともに、定期的な見直しを図ります。

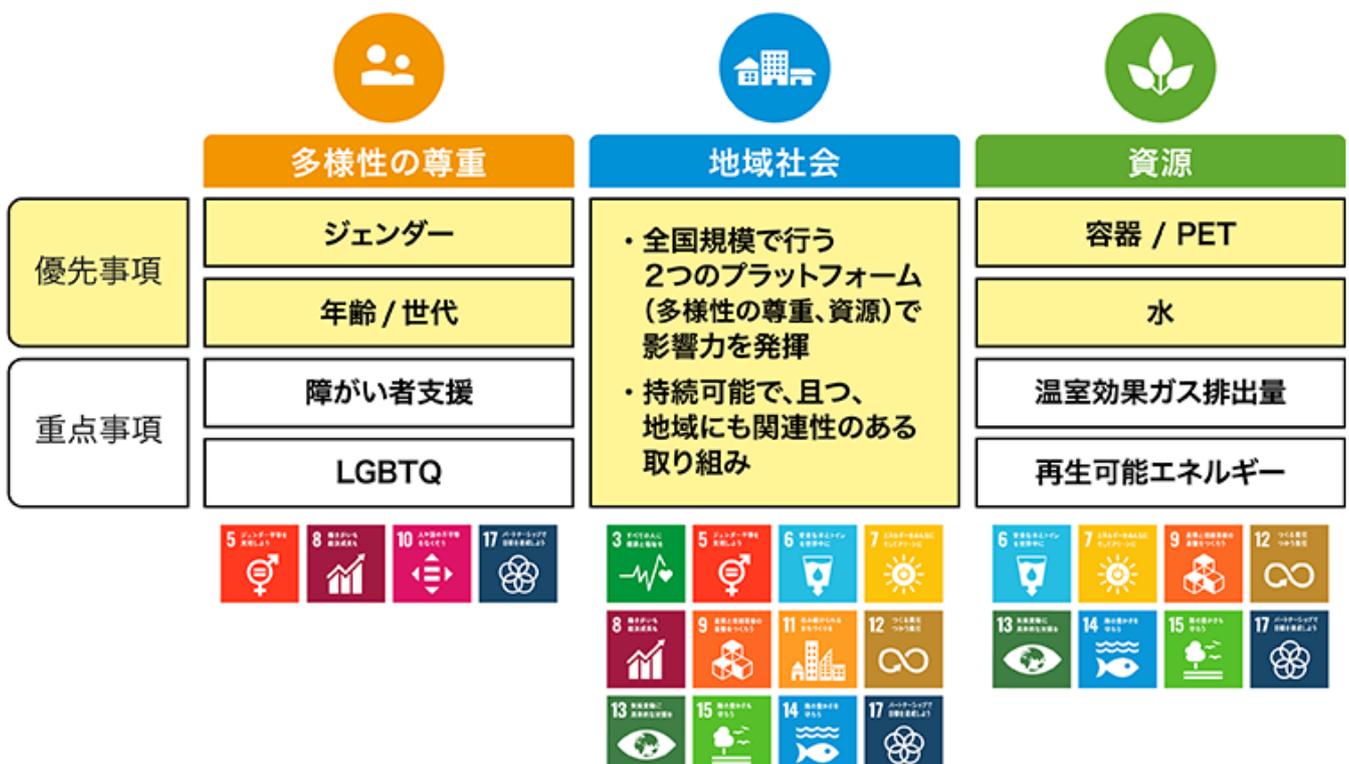
- 当社に適用される環境関連法規制及び関連する会社と交わした協定、約束について厳守します。
- 沖縄県において、持続可能な地域社会の構築を目指します。
- 当社の日々の活動で発生する環境負荷を低減するような活動に取組みます。

日本のコカ・コーラシステムによるサステナビリティへの取り組みについて

日本コカ・コーラ株式会社と全国5社のボトリング会社などから構成されるコカ・コーラシステムは、「世界中をうるおし、さわやかさを提供すること。前向きな変化をもたらすこと。」の事業目的にそって、日本が直面する重要な課題に対し、ビジネスを通じて変化をもたらしながら、未来を共創していくことに責任をもって取り組みます。

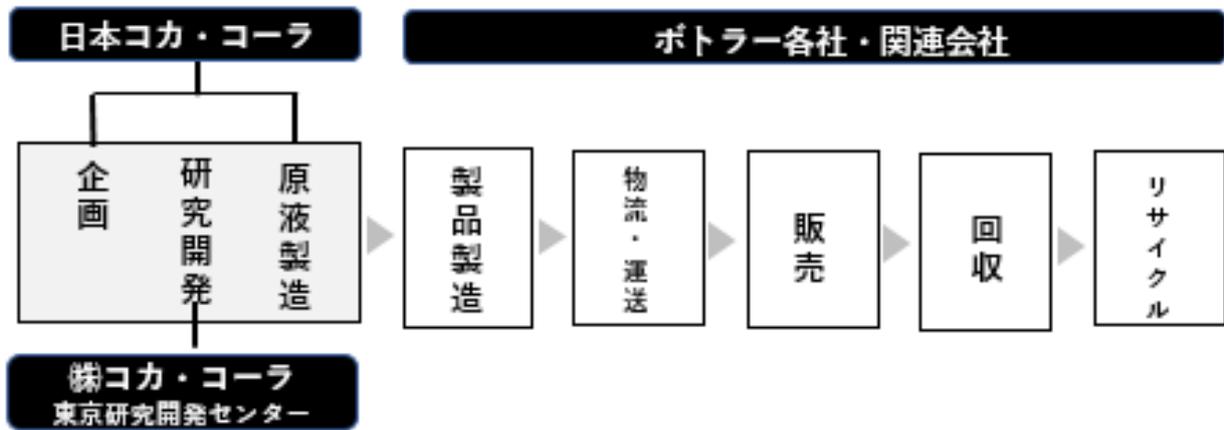
2020年には「多様性の尊重」「地域社会」「資源」の3つのプラットフォームと9つの重点課題を特定し、システム共通のサステナビリティフレームワークを策定しました。

当社では現在の活動を定期的に見直し、コカ・コーラシステムとの連動を図ってまいります。



コカ・コーラシステムの構成

日本のコカ・コーラシステムは、原液の供給と製品の企画開発や広告などのマーケティング活動を行う日本コカ・コーラ株式会社と、製品の製造・販売を行う5つのボトラー会社および関連会社で構成されています。



沖縄コカ・コーラボトリング

沖縄県

【事業所】

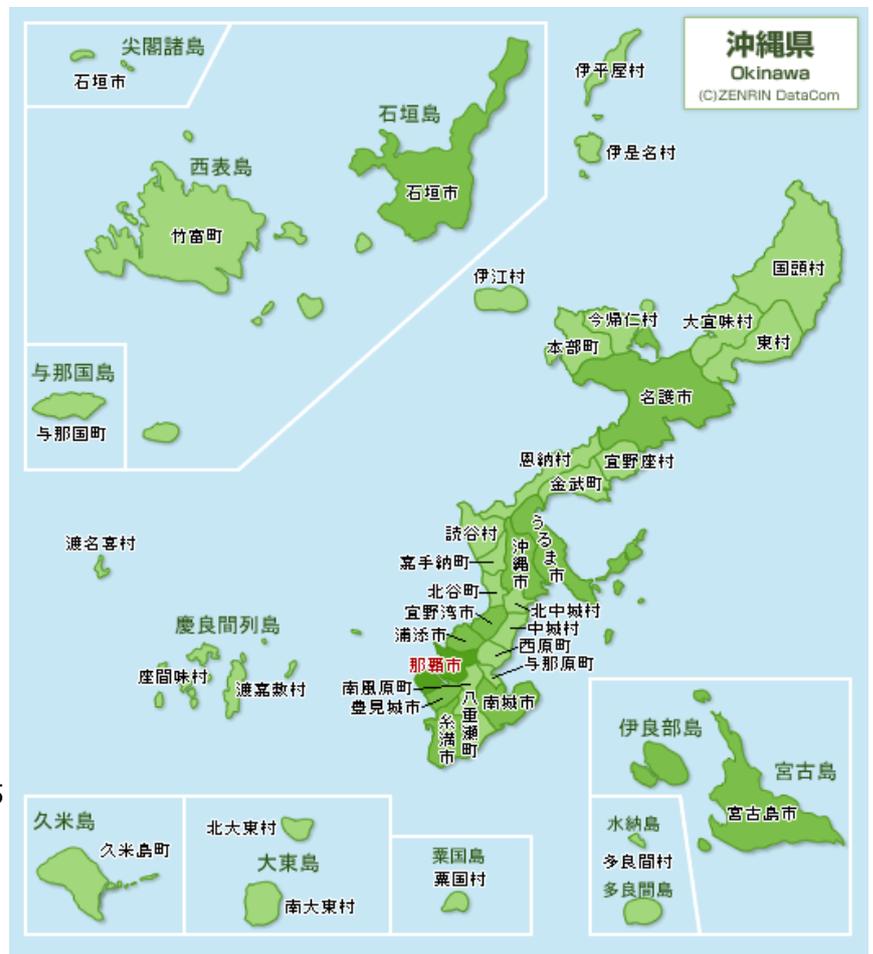
- 浦添工場 エンジニアリング課098-877-5891 沖縄県浦添市伊祖5-14-1
- 機器サービス部 098-949-7882 沖縄県南城市玉城字愛地727

【営業所】

- うるま営業所 098-965-7000 沖縄県うるま市石川伊波1472
- 名護営業所 0980-52-2255 沖縄県名護市大北1-23-35
- 豊見城営業所 098-850-1029 沖縄県豊見城市字我那覇493
- 中部第一営業所 098-877-5373 沖縄県中城村字屋宜286
- 中部第二営業所 098-895-5191 沖縄県中城村字屋宜286
- チェーンストア営業所 098-944-2011 沖縄県浦添市伊祖5-14-1
- 宮古営業所 沖縄県宮古市平良字西里819-1
- 久米島出張所 沖縄県島尻郡久米島町大田332-1

【グループ会社】

- (株)琉仁カスタマーサービス 098-895-6045 沖縄県中城村字屋宜286
- R E X(株) 098-942-7020 沖縄県浦添市伊祖5-14-1



当社のCSR活動

～ 持続可能な地域社会を掲げる目標にチャレンジします！～

CSR活動方針

- 安心安全な製品を提供する事で、うるおいのある社会づくりに貢献します。
- 環境保全活動などのCSR活動を積極的に行う企業風土を育てます。
- 事業活動を通して、持続可能な地域社会貢献活動を推進します。
- SDGsの活動と連動したCSR活動の指標、および目標達成に取り組んでいきます。

CSR活動の3つの領域「環境」「経済」「地域社会」において、
SDGsの目標を達成するため、
当社を取り巻く地域の人々とのパートナーシップを大切に、
地域・社会の課題解決に貢献します。



環境

ウチナーの持続可能な地域環境を次世代へ

世界有数の自然に育まれた沖縄の価値ある自然を次世代へ。

- 自社製造シェア拡大により、他府県からの輸送時に発生するCO₂排出量削減
- 浦添工場での廃熱再利用によるCO₂削減、エネルギーの効率的利用の促進
- 「容器の2030コカ・コーラビジョン」宣言
 - ・リサイクルペット再生樹脂容器、及び植物由来樹脂などの持続可能な飲料容器の使用拡大
 - ・販売した自社製品と同等量の容器回収を目指し、容器回収リサイクルの地域的な枠組みの構築
- 首里城公園友の会イヌマキ育樹祭への参加と、「いろ・は・す」売上金の一部をイヌマキ育樹祭へ寄付
- 沖縄本島北部地域における環境保護活動の展開
 - ・国頭村との生物多様性保護協働活動として、自販機の売上金の一部を「NPO法人どうぶつたちの病院 沖縄」への寄付を継続
 - ・国頭村と水源保護活動協定を締結し、水源涵養を推進。また、国頭村及び大宜味村との共催でコカ・コーラ「森に学ぼう」植樹・育樹活動を現在も継続
- 牧港川クリーンアップ、海岸清掃等の地域環境活動の実施



育樹での森作り
2006年開始
約4,300本
(累計)

「森に学ぼう」
参加人数
約5,100人
(累計)

「いろ・は・す」
水資源保全プロジェクト
参加人数
約400人
(累計)

経済

安全安心な製品の提供による、お客さまの健康とハピネスに貢献

高品質で安心安全な製品の提供による健康でおいしいのあるライフスタイルへの貢献。

- 2021年県内初の無菌充填設備稼働による自社製造製品の拡大で、県内企業からの資材購入増加による地場産業への経済相乗効果
- 品質を守る独自の基準「KORE」でオペレーションを管理
- ISO14001など国際規格の遵守
- お客様とのコミュニケーション(お客様対応：ISO10002適合宣言)
- 容器の2030ビジョン(廃棄物ゼロ社会に向けての取組み)



地域社会

うちなーんちゅ企業として取り組む地域活動

沖縄が発展してこそ沖縄コカ・コーラボトリングは成長を果たすことができます。
当社が行っている様々な活動を通して、
多様性への取組みや地域のニーズに応える活動に取り組んでいます。

- トクホ製品や機能性飲料の販売を通して、より潤いのある機会を提供
- 社内規程を整備し「多様性を尊重」する職場環境づくり。また、女性活躍の機会創出
- 沖縄工業高等専門学校との産学連携及び先端技術開発による能力開発
- インターンシップの受入による就業支援、及び就労施設との業務提携による就労支援
- 自治体との災害物資協定や、災害支援型自販機による飲料水の無償提供
- 各種イベントへの協賛、及び支援型自販機による地域活性化を目指した支援活動や、子ども食堂などへの製品寄贈による地域づくり
- 返済義務のない奨学支援事業を継続。また、環境教育支援事業として、県内の学校や団体の環境活動を助成、支援するコカ・コーラ環境教育賞活動を展開



コカ・コーラシステムの取組みについて

～ 廃棄物ゼロ社会の構築を目指して ～

World Without Waste (廃棄物ゼロ社会) - 容器の2030年ビジョン -



日本のコカ・コーラシステムでは廃棄物ゼロ社会を目指し、「設計」「回収」「パートナー」の3つの柱からなる「容器の2030年ビジョン」を策定しました。

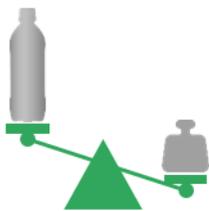
2019年7月には、「ボトル to ボトル」の推進などを通じ、2030年までにすべてのPETボトルを100%サステナブル素材に切り替えることなどを骨子とした、日本独自の新たな数値目標を設定、その実現に向け取り組んでいます。

「容器の2030年ビジョン」 (2019年7月更新)

	設計 DESIGN	回収 COLLECT	パートナー PARTNER
	ボトル to ボトル ^(※1) / サステナブル素材	PET樹脂の使用量	回収
			さまざまな取組
2019年 (現在)	<p>「ボトル to ボトル」の割合 (2018年実績)</p>	<p>容器を適切に回収</p>	<p>完全循環型PETボトルリサイクルを実現 「一（はじめ）緑茶 一日一本」</p>
2022年 までに	<p>「ボトル to ボトル」の割合</p>		
2025年 までに	<p>すべての製品のPETボトルに、 リサイクルPET樹脂または植物由来PETを使用</p>		
2030年 までに	<p>「ボトル to ボトル」の割合</p> <p>すべてのPETボトルを、 リサイクルPET樹脂または 植物由来PET樹脂に切り替え 新規化石燃料ゼロへ</p>	<p>35%削減</p> <p>製品1本あたりの PET樹脂^(※2)の使用量 (2004年比)</p>	<p>国内で販売した自社製品と 同等量のPETボトルを回収</p> <p>さまざまなパートナーと連携し、 より着実な容器回収・ リサイクルスキームを構築・維持</p>

PETボトルの利点！

軽量



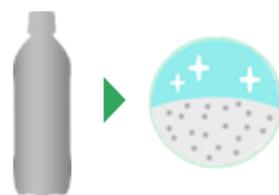
軽くて持ち運びに**便利**

再栓可能



再栓ができて**衛生的**

再資源化

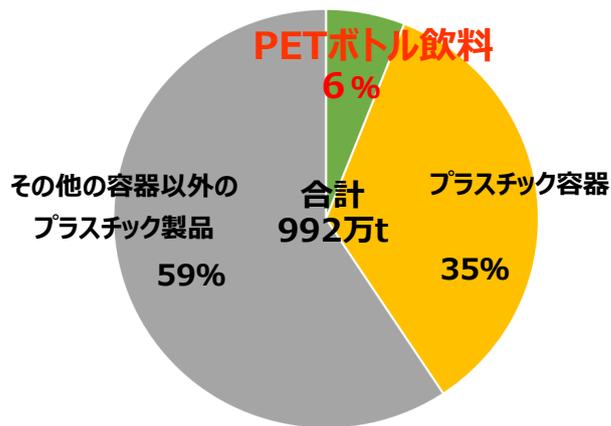


リサイクルすれば**資源に**

プラスチック製品・PETボトルの現状！

普段の生活に欠かせないプラスチック製品は、日本国内で年間およそ992万tが使用されています。

そして、国内におけるプラスチック製品のうち、容器が全体の約35%8344.2万tを占め、PETボトルの割合は、**全体の6%**(62.6万t)です。



日本のPETボトルの回収率は？

日本のPETボトルの**回収率は98%以上**と推計。

河川や海などにごみとして流出されているのは、残りの2%未満のうちの一部と考えられます。

この2%がどこから流出しているのか、リサーチを行っています。



高水準を誇るPETボトルリサイクル！

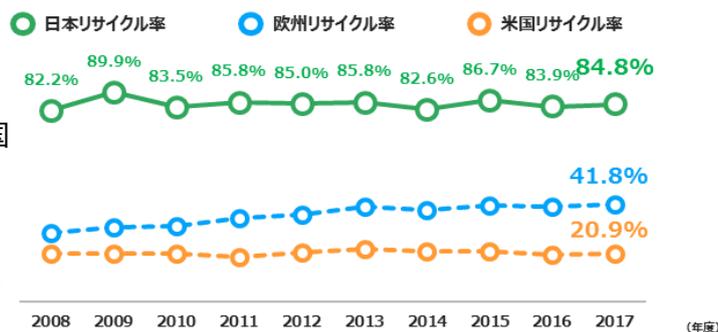
PETボトルリサイクル率

▶ **84.8%**

日本のPETボトルの**リサイクル率は84.8%**で、米国や欧州に比べても、非常に高い水準を誇っています。

日本のリサイクル率が高い理由は、1995年に制定された容器包装リサイクル法（容リ法）に則った回収の仕組みと国民の高い意識があるためです。

日米欧のPETボトルリサイクル率の推移*



※PETボトルリサイクル推進協議会 年次報告書 2018 図5より

「ボトル to ボトル」の推進

100%リサイクルペットボトルを国内最大規模で展開 次世代ペットボトルが登場！



コカ・コーラシステムでは、使用済みPETボトルから新しいPETボトルを生み出す「ボトル to ボトル」を推進しています。

2020年3月には、「い・ろ・は・す 天然水」に「ボトル to ボトル」によるリサイクルPET樹脂を100%使用した容器を導入。

石油由来100%のPETボトルと比較して、1本あたりのCO₂排出量を**49%削減**し、環境負荷のさらなる低減に成功しています。

2019年の実績では、コカ・コーラシステムの全PETボトルに用いられている原材料のうち、リサイクルPET樹脂の比率は約21%。

この「ボトル to ボトル」比率を、2022年には50%、**2030年には90%**にまで高めます。

日本のコカ・コーラシステムが推進する「ボトル to ボトル」とは？



ボトルtoボトル
目標

2018年現在

約**17%**

2030年
までに

90%

1.環境

水資源保護活動の推進

コカ・コーラシステムが考える水の循環

当社は貴重な県内の水源を活用し、事業活動を行う企業として、製品に使用した量と同等の水を自然に還元する取り組みを進めています。

当社が製品を造る過程で使用する水は、「製造に使用する水」と、「製品になる水」の、大きく二つに分けられます。その中で、製造過程での水使用量の削減「**リデュース（Reduce）**」、製造過程で使用する水の循環「**リサイクル（Recycle）**」、そして、地域の水源涵養「**リプレニッシュ（Replenish）**」と水の効率利用に取り組んでいます。

「製造に使用する水」である洗浄水や冷却水の一部は、使用量を削減したり、再利用を行い、最終的に適正な処理をした上で河川に放流しています。「製品になる水」は、本島北部のダム近隣で植樹・育樹などの活動を通じて、水源の涵養能力を高めることで、自然への還元を図っています。



「森」と「水」の大切さを学ぶ

コカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクト

当社は2006年より沖縄本島最大の水資源である本島北部やんばるのダム近隣で、行政・自治体・地域ボランティアの皆さんと一緒に継続して植樹・育樹活動を行なっています。



2020年12月 コロナ禍での「森に学ぼう」。次回は沢山のひととやりたいな！

首里城公園友の会様のイヌマキ育樹祭を応援！

首里城公園友の会様は、50年・100年先の首里城の大修理の際に沖縄で育てたイヌマキ（方言名:チャージ）を使って欲しいという願いと、辺野喜ダム近隣の荒れた土地にイヌマキの植樹と育樹を通して緑の空間にすることで、やんばるの緑化につなげたいとの想いで、活動を行なっています。

2017年より、当社も首里城公園友の会様の趣旨に賛同し、年2回の育樹祭に社員・社員家族で参加し汗を流しています。沖縄の歴史と文化を象徴する首里城の未来に想いをこめて。



2021年1月

「い・ろ・は・す」水資源保全プロジェクト

～首里城公園友の会様を支援～

「い・ろ・は・す」の売上金の一部は、公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団を通じて、日本の各地で水資源保全活動を行っている団体に寄与され、その活動を支援しています。

当社では、「首里城公園友の会」様の「イヌマキ育樹祭」を支援しています。



県内清涼飲料業界、初の産業用コージェネレーション

当社では製造工程で大量のエネルギーを使うことから、省エネルギー化やCO₂削減が大きな課題となっていました。沖縄県内の限られた需要に対して、一つの工場において多品種、小ロット生産とならざるを得ず、生産計画変更によるエネルギーコストをいかに抑えるかに苦慮していました。その背景もあって、2017年産業用コージェネレーションシステムを導入し、省エネ環境に配慮した取り組みを推進しています。



コージェネレーションシステム

コージェネレーション導入のポイント

- ①ピークカットで電力コストを削減
- ②CO₂排出量削減



工場廃熱再利用システム

水使用効率で
7.9%改善



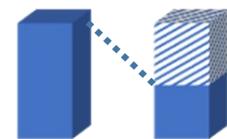
2012年 2020年

エネルギー効率で
0.7%改善



2012年 2020年

CO₂排出削減効率で
11.1%改善



2012年 2020年

県内初、インライン炭酸ブロー機を導入

従来は、PETボトル製品の空容器を取引先より購入し、浦添工場で中味を充填し製造していました。

2021年3月にブローボトル成形機を新規に設置、浦添工場でPETボトルの容器を成形し充填できるようになりました。これは県内初のインラインブロー機です。

PETボトルを作る工程は、次のようになっています。

- ①試験管状のプリフォーム樹脂を購入 ⇒
- ②浦添工場ブロー機で加熱 ⇒
- ③金型内で高圧空気を吹き込む ⇒
- ④金型内で膨らませる ⇒
- ⑤PETボトルに成形 ⇒
- ⑥成形されたPETボトルに中味を充填

この機械の製造能力は、500mlコークボトルの場合、1時間に16,800本成形されます。





2. 経済

お客様の期待に応えるために

コカ・コーラ、全世界共通の基準「KORE」管理体制 ～ マネジメントシステム「KORE」とは ～

コカ・コーラシステムは、2010年より世界共通で「KORE (Coca-Cora Operation Requirements)」と呼ばれる、独自のマネジメントシステムでオペレーション管理を行っています。

「KORE」の品質・食品安全・環境項目の要求基準は、国際要求基準ISOより厳格なものとなっています。

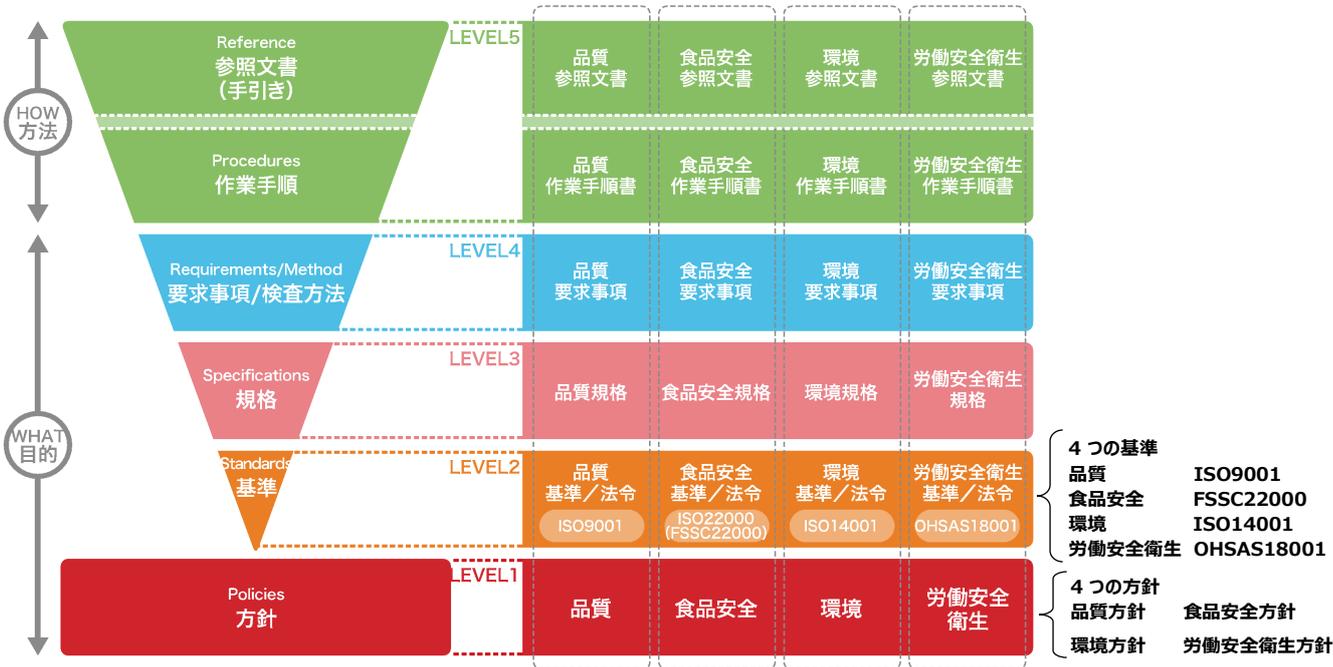
「KORE」は原材料の調達から製造、物流・輸送、販売を経て、お客様に製品が届くまでの過程における「品質」「食品安全」「環境」および「労働安全衛生」という4つの要素があり、各々には、「方針」「基準」「規格」「要求事項」「作業手順/参照文書」という5つの階層があります。

オペレーションのチェック機能は、審査登録機関による各要求事項へのパフォーマンス測定が、少なくとも年1回行われ、社外第三者からの客観的評価が加わることで、マネジメントシステムの公明・公正な運用が保証されています。

KORE (Coca-Cora (KO[※]) Operation Requirements)

※「KO」は、ニューヨーク証券取引所に上場しているザ コカ・コーラ カンパニーの略称です。

「KORE」マネジメントシステムフレームワーク図



安心安全な製品をお届けするために

品質、食品安全、労働安全、環境の4側面のISOを取得しました。
ISOの基準よりもさらに厳しい「KORE」要求事項（世界共通のコカ・コーラ要求事項）に沿って製造を行っています。

- ・ISO9001（品質マネジメントシステム）認証取得
- ・FSSC22000（食品安全マネジメントシステム）認証取得
- ・ISO45001（労働安全衛生マネジメントシステム）認証取得
- ・ISO14001（環境マネジメントシステム）認証取得



お客様とのコミュニケーション

お客様満足のための基本方針

私たち沖縄コカ・コーラボトリング株式会社は、あらゆる企業活動を通して、地域の皆様に「爽やかさと潤い」をお届けしたいと考えています。

お客様とのふれあいを大切にし、安全で安心できる製品、サービスを提供するとともに、お客様の声を積極的に企業活動に活かし、行動指針に基づきお客様から信頼される企業をめざしてまいります。

行動指針

- ・お客様からの声を真摯に受け止め、迅速且つ適切に誠意を持って対応します。
- ・お客様からのご指摘・ご要望を重要なコミュニケーションの機会ととらえ、正確な情報収集と積極的な情報提供を行います。
- ・お客様とのコミュニケーションを大切にし、お客様の声を積極的に企業活動に活かし、コカ・コーラファンになって頂ける企業を目指して行きます。
- ・お客様からのご意見は貴重なものとして社内で共有し、製品・サービスの向上に反映させます。
- ・お客様の権利を保護するため、関連する法規及び社内の自主基準を遵守いたします。

お客様対応フロー図

沖縄コカ・コーラボトリング株式会社 御中
2019年10月24日
CMS-EA-2096-0003

苦情対応プロセスの適合性に関する第三者意見書

〒150-0002
東京都渋谷区東町1-1-1 大塚ビル2F 202号室
東京海上日動リスクコンサルティング株式会社

東京海上日動リスクコンサルティング株式会社は、沖縄コカ・コーラボトリング株式会社の苦情対応プロセス（ご指摘対応マネジメントシステム、以下同じ）の適合性に関し、第三者評価を行った。以下にその見解を表明する。

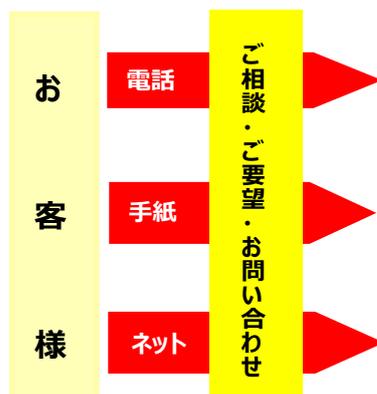
1. 評価目的
第三者評価の目的は、沖縄コカ・コーラボトリング株式会社が構築した苦情対応プロセスが、JIS Q 10002:2015 (ISO 10002:2014)「品質マネジメント—顧客満足—組織における苦情対応のための指針」の要求事項に適合しているか否かの検証を行い、その内容について第三者の立場から見解を表明することである。

2. 評価日
2019年8月19日
(前回評価：意見書番号CMS-EA-2016-0003、評価日 2016年7月29日)

3. 評価方法
(1) 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社の苦情対応プロセス関連文書や苦情対応記録、その他関係となる内部資料を用い、沖縄コカ・コーラボトリング株式会社の苦情対応プロセスが、JIS Q 10002:2015(ISO 10002:2014)に準拠して構築されているか否かを検証した。
(2) 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社の苦情対応プロセスが、苦情対応プロセス関連文書に準拠して運用され、維持されているか否かを、関係者へのヒアリング、ならびに活動記録などの証拠となる内部資料をもとに検証した。

4. 評価の結果
第三者評価の結果から、以下の通り第三者意見を表明する。
(1) 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社の苦情対応プロセスおよび苦情対応プロセス関連文書は、JIS Q 10002:2015 (ISO 10002:2014)に適合した内容となっていると判断する。
(2) 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社の苦情対応プロセスは、同社の苦情対応プロセス関連文書に準拠して運用され、維持されていると判断する。

以上



<https://j.cocacola.co.jp/info/>

●製品、マーケティングの お問い合わせ

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷4-6-3
日本コカ・コーラ(株)
お客様相談室



沖縄コカ・コーラ
ボトリング(株)

地域を盛り上げる、主要製品

時代のニーズに合わせたラインナップ

当社は、地域のニーズに合わせた製品をラインナップしています。



●コカ・コーラ シーサー缶
(沖縄限定デザイン)



●紅茶花伝
ガーデンレモンティー



●紅茶花伝
ガーデンシークワーサーティー



●茶流彩彩
さんびん茶

新しいライフスタイル、進化するアプリ

「Coke ON」は、アプリ内でスタンプを15個ためて1本分のドリンクチケットを獲得できる、おトクで便利なコカ・コーラの公式スマホアプリです。

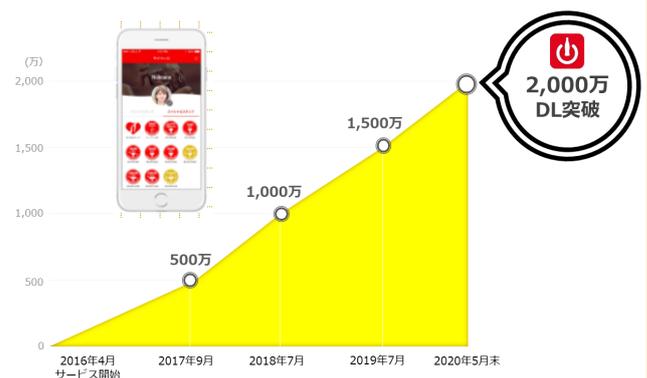
例えば、歩くだけでスタンプがもらえる「Coke ONウォーク」なら、皆様の健康的な習慣づくりを楽しくおトクにサポートできます。ご自身の生活やペースに合わせて、一日の歩数目標を設定できるため、着実に皆様の日常生活の中で、健康的な習慣づくりに活用いただけます。

15スタンプで獲得したドリンクチケットは、Coke ON対応自販機で、すべてのコカ・コーラ社製品と交換できます。もちろん、トクホや機能性表示食品のドリンクも対象です。

また、現金だけではなくSuicaなど交通系電子マネー、楽天Edyなど複数の電子マネーがご利用いただけます。

※電子マネー読み取り用のパネルなどが目印です。

県内でのCoke ON稼動自動販売機は1,968台（2020年5月現在）に達しています。



3. 地域社会



サステイナブルな地域社会づくりに貢献

環境・美化活動

海洋ゴミ問題の一環として、海岸清掃を通してプラスチックなどの資源の循環につながるよう、社会の課題に向けた取り組みを推進。



2019年12月
浦添西海岸里浜ビーチクリーン



2020年4月
新入社員大宜味海岸クリーンアップ



2021年4月

全島緑化県民運動 ～「緑のボランティア」～

「緑のボランティア」活動とは、道路沿いの花壇を除草・清掃・花苗植え付け・管理を行ない、地域の美化・緑化の活動を行うものです。機器サービス部は、「緑のボランティア」として、道路緑化活動をおこなっています。



緑のボランティアとして活動しています

地域に貢献

沖縄県工業連合会主催の表彰で地場産業に貢献

沖縄県工業連合会主催の表彰制度に、製造部より4名の課員の推薦を行いました。

同会の審査が4月7日(水)に行われその結果、優良従業員賞に49社82名、優秀技能者賞に12社12名、創意工夫功労者賞に5社4名1グループの受賞者が決定しました。

～ 2021年度 工連表彰等 受賞！～

■優良従業員賞



製造一課 國吉 和成



製造二課 崎山 朝也

■優秀技能者賞



官能検査(SPPS)
品質管理課 吉田 由奈

■創意工夫功労者賞



シロップ調合CIP工程の見直し
製造三課 香村 幸宣



災害対応型 及び 地域貢献型自動販売機

コカ・コーラシステムでは、大地震などの災害によりライフラインが被害を受けた際、清涼飲料水を無償で提供できる『災害対応型自動販売機』、さまざまな『地域貢献型自動販売機』を展開しています。

これは、自動販売機の設置契約者さまのご協力で、自動販売機で飲料を購入するごとに、売上金の一部が対象団体に寄付される仕組みです。



災害対応型



子育て自販機



見守る自販機



サンゴ支援自販機

地域貢献型自動販売機による 地域支援の仕組み

2020年5月現在

地域貢献型自動販売機でご購入



売上げの一部を活動資金として提供



主な地域貢献型自動販売機名称
メッシュサポート支援金
ヤンバルクイナ保護活動支援金
全国肢体不自由児者父母の会連合会
エイサー支援機
日本赤十字支援機
沖縄県交通安全協会連合会支援機
ペトリボン基金
ピンクリボン支援金
合同会社琉球インターナショナル
JOCオリンピック支援機
沖縄県腎臓病協議会
豊見城龍船支援機
夢の貯金箱支援金
ちやたん海のライフセービングクラブ
ボウリング場協会支援金
沖縄県建設業協会那覇支部
おぎやー募金支援機
サンゴ支援機
一般社団法人九州沖縄道の駅ネットワーク
浦添市社会福祉協議会支援金
沖縄県聴覚障害児を持つ親の会支援機
その他

社会貢献活動の支援

『こんなときこそ、コカ・コーラにできること。』

～ 県内医療機関等へ、コカ・コーラ製品を寄贈 ～

当社は、新型コロナウイルス感染症と懸命に向き合う医療現場の方々へ、感謝と激励の思いを込めて、沖縄県内の感染症指定医療機関6箇所、及び関連医療機関へ、コカ・コーラ社製品 26,000本余を寄贈しています。

この取り組みは、日本のコカ・コーラシステムが、公益社団法人日本医師会を通じて、全国の感染症指定医療機関などに対し、清涼飲料約130万本寄贈する「Refresh Japan」プログラムの一環となります。

「Refresh Japan」

感染防止に尽力されているすべての皆様、
診断や治療にあたられている医療関係の皆様へ、
心からの敬意と感謝を込めてお届けします。



県庁にて



那覇市立病院にて

奨学支援事業

コカ・コーラシステムの奨学支援事業の歴史は1966年まで遡ります。

「公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団」では、人物・学力ともにすぐれ、経済上の理由で大学進学が困難な事情にある学生に対し、教育支援として大学在学期間に、返済義務のない給付型奨学金を授与しています。

また、沖縄コカ・コーラボトリングは1973年より独自の支部採用枠を設け、奨学金支給を開始し2021年迄に115名の卒業生を送り出しました。

本部採用 亀井 ハンナ さん



公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団の2021年度奨学生として、大学に入学するにあたり今後の抱負を述べさせていただきます。

今回、社会が困難な状況にあるなか、多くの大学生が金銭面で苦悩を抱えていますが、このような形で当財団から支援を受けることができ、とても感謝しています。この機会を与え、推薦していただいた学校の先生方、沖縄県支部の方々にも感謝申し上げます。

私は将来、環境問題に携わりながら国際的に活躍できる人材となり、人と自然が平和に共存できる社会を作っていきたいという夢があります。大学では、人の活動の中心である経済を軸に国際的な視点で学び、社会問題に対する視野を広げながら、私が未来のために何をすべきなのか、どうアプローチしていくのかを探求していきます。

予想外のことがあたりまえのように起こると実感したいまだからこそ、そのときの状況に柔軟に対応し、多くの人の支えに常に感謝の気持ちを持ちながら、大学生活を送りたいです。

支部採用 赤嶺 小桃 さん



私は、宮崎公立大学で、幅広い視野と深い意見が持てるようになりたいと思っています。大学受験を通して、“自分が将来何をしたいか”自分自身と向き合ってきました。が、考えれば考えるほど、貧困問題、戦争の歴史継承、環境問題、教育、と自分がやりたいことがたくさんあり、結局何がしたいか定まらず、大学入試も思うような結果になりませんでした。

リベラル・アーツ教育が特徴である宮崎公立大学はそんな私が最後に出会った大学でした。

様々なことに興味があるからこそ、リベラル・アーツを活用して、違った視点で物事を考えられるだけの教養を身につけていきたいです。そして、“興味あること”に対して、あらゆる視点から着目した深い考えを持って将来を切り開いていきたいです。



支部採用 大城 あぐりさん

私は将来、化粧品開発に携わりたいと考えています。

進学する大学で化粧品について専門的に学ぶだけでなく、語学の勉強にも力を入れたいと思っています。また、コロナ禍で参加する機会が減りましたがボランティア活動をこれからも続けていきたいです。

全国的に経済状況が苦しい中支援を受けられることになり、嬉しい限りです。

4月から新天地で生活することに不安はありますが、意味のある大学生活を送れるよう様々なことに挑戦していきたいです。

社会のニーズに応える

浦添市の次世代育成に！ ～米国コカ・コーラ財団の助成事業～

米国コカ・コーラ財団は、NPO法人キーパーソン21に対して、彼らの「わくわくエンジン」という自己啓発プログラムの講師育成プログラムを支援するために寄付を行いました。

キーパーソン21は、青少年の心の中にある自分を動かす原動力となっているものは何かを見つけることで、彼らの人生がより豊かなものになるという活動を続けています。



今回、NPO法人キーパーソン21が主催する「わくわくエンジン EXPO ～教育が始まる地域創生」を語るが、3月27日・28日にオンラインで開催されました。

全国6地域の中高校生による事例発表会が行われ県内より、6歳から浦添市立森の子児童センターを利用している新里さんが登壇し、幼いころの心の葛藤から恩返しへの思いを語りました。



ここは「なくてはならない居場所」です！

森の子児童センター・浦添市



松本市長より激励の挨拶

会社概要

社名	沖縄コカ・コーラボトリング株式会社 Okinawa Coca-Cola Bottling Co.,Ltd.	
設立	昭和43年2月22日	
所在地	〒901-2555 沖縄県浦添市伊祖五丁目14番1号 TEL(098)877-5255(代表) FAX(098)879-4527	
資本金	4億円	
決算期	12月	●お問い合わせ
販売地域	沖縄県	コールセンター
事業内容	コカ・コーラ等、清涼飲料水の製造販売	(月～金：9：00～18：00)
関係会社	株式会社 丸仁ホールディングス 株式会社 琉仁カスタマーサービス R E X 株式会社	代表問合：TEL098-877-5255 注文受付：TEL098-879-7172 修理受付：TEL098-879-9781

役員体制

役員（令和3年4月現在）

取締役会長	高橋 俊夫
代表取締役社長	小山 良彦
常務取締役	新井 英寿
取締役	嘉陽 功
取締役相談役	高梨 圭二
監査役	田中 行雄

執行役員

執行役員	水野 竜太
執行役員	加島 純
執行役員	新垣 勇
執行役員	渡邊 一章
執行役員	鮎澤 和夫
執行役員	田所 聖司

子会社の役員体制

株式会社琉仁カスタマーサービス

代表取締役社長	小山 良彦
取締役副社長	仲村 光政
取締役	新井 英寿
取締役	嘉陽 功
監査役	田中 行雄

REX株式会社

代表取締役社長	小山 良彦
取締役副社長	榎 憲二
常務取締役	嘉陽 功
取締役	新井 英寿
監査役	田中 行雄



本社空撮
(2017年12月)

グループ会社紹介

株式会社 琉仁カスタマーサービス

自動販売機 総合オペレーター企業を目指して！

(人に優しく、環境に優しく、地域と共に)

当社では、お客様の各種自動販売機を一括管理をさせていただくことで、管理業務を簡素化し、質の高いサービスと豊富な品揃えの商品をご提供することが出来ます！



- ① コカ・コーラを中心に**他社の売れ筋商品**も買える自動販売機を取り揃えています！
- ② 軽食の**カップヌードル、カロリーメイト**なども買える販売機もあります！
- ③ 自動販売機の**電気代抑制**ができるタイプをご提案！
- ④ 自販機の**事務作業の軽減、セキュリティの強化**ができ、同時に**出入り業者も絞れます！**



REX 株式会社

信頼される、自動販売機 オペレーター企業を目指して！

沖縄コカ・コーラグループの一員として、自動販売機のオペレーション業務を通して、高い品質で効率的且つ、安定的な業務を行い、信頼される企業を目指します。



今後の企業活動やレポートづくりの参考とさせていただくため、本レポートへのご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

沖縄コカ・コーラボトリング株式会社（コカ・コーラ指定会社） 人事総務部 CSR推進課

〒901-2555 沖縄県浦添市伊祖五丁目14番1号

TEL. 098-877-5269 FAX. 098-877-5340

<https://www.okinawa.ccbc.co.jp/>
